

- 日 時：令和7年6月17日（火）16:40～17:40
- 場 所：Zoomオンライン
- 参加者：大手前丸亀中学・高等学校 26名
- 講演者：ムーンショット目標1 石黒浩プロジェクトマネージャー(PM)

■ 応募の背景（大手前丸亀中学・高等学校様より）：

未来ある子どもたちに容易ではない目標に立ち向かっている研究者の生の声を是非聞かせていただきたいと思っています。研究者の生の声を聞くことで、より良い社会を目指す生徒たちの刺激になればと考えています。

■ 概要

石黒PMの講義は前半/後半の2つのパートに分けて説明があり、それぞれのパートで質問を受ける形で進められた。講義前半では、ロボットやアバターに関する自身の研究を、人間とアバターやロボットが共存する世界などにもふれながら、アバターによるサービス提供の実例など豊富な映像を交えて紹介した。後半では、人間とアバターの共生社会や人類の進化についての考察を万博の展示と結びつけながら説明された。

生徒たちからは、沢山の質問があり、「人間らしいロボットをつくるには、感情をどうプログラムするのか?」、「将来ロボットが暴走することはないのか?」といった率直な問いが投げかけられた。これに対し石黒PMは、「感情の仕組みはまだ分かっていないので、人を観察し、観察した通りに作っている。感情は言葉みたいな物で、とても重要な物です。」と話し、さらに「暴走するのはロボットよりむしろ人間です。だからこそ、人間はより高い倫理観を持たなければならないのです」と、印象的な言葉で回答されていた。

■ 参加者感想（抜粋）：

- ・『人は無生物から生まれ、無生物へと戻る』と言う話に気付きがあった。
- ・人間とロボットが共に暮らす未来が現実になりつつあると感じた。
- ・講義をきっかけに理系分野や将来の進路に関心を持つようになった。



熱心に聞き入る生徒たち



Geminoid HI-6+LLM

石黒PMのアバターの紹介



生徒たちが質問をする様子

